

かだぎ と
敵イ取んな。[CD1-20]

「^{そなたアど き とオ まなく まなく は は}38其方等も聞いてだ通り、『^{かだ}日にア日ウ。隣にア隣ア』って語らイでる。³⁹んだだ
^{おら かだ わるもの はし だれ}も、自分ア語っておぐ。悪者に刃向がうな。誰がア其方ア右の頬ウ叩アたら、左の
^{ほったぶ だ}頬も出さなれ。

^{そなた うって あアせ と けア もの はおり し け}40其方アどごオ訴アで、拾エ取つ返すベアどすん者さば、羽織も付けで呉でやんな
れ。

^{いちらい けアど むり むりあり もの いっしょに りあり}41一里の街道オ無理無理歩がせべどすん者アあらば、一緒に二里歩いてける。⁴²欲
^{もの け か もの せ む}うたがる者さば、呉んなれ。貸してけろらウ者さ背エ向げんなんな。」

かだぎ でアイ
敵だっても大事にすろ。[CD1-21]

「^{そなたアど き とオ となりびと でアイ かだぎ にく かだ}43其方等も聞いてだ通り、『隣人オ大事にすろ。敵ば憎め』って語らイでる。⁴⁴ん
^{おら かだ かだぎ でアイ われひと セアな もの よ いの}だども、自分ア語っておぐ。敵だっても大事にす、吾人オ苛む者のために良がれど祈
^{てん じつごま こ}れ。⁴⁵そうして、天のお父様の子になんべす。

^{じつごま わりひと いひと ひ のは ただ もの ただ}お父様ア悪い人さも、善い人さも、隔でなく日イ昇らせ、正しう者さも、正しうね
^{もの へた あめ ふ}ア者さも、隔でなく雨エ降らせでけやっから。

^{われ でアイ ひと でアイ}46自分アどごオ大事にすてける人オ大事にすたがらって、其方等ア許ぎ如何ないい
^{むく みちぎとり ごど}報いがあんべさよ？ 徴税吏でもそのくれアの事ばすんでアねアな？

^{われ みうち い かお なぞ りっぱ ごど}47自分ア身内さばり良い顔オすたがらって、如何な立派な事オすたらウ事んなんべ
^{ほがす ごど}さよ？ 異邦人でさげアそのくれアの事ばすんでアねアな？

^{わけ}48そういう訳だがら、其方等アお父様ア出来だ方でありやるように、其方等も又
^{そなたアど まだ}出来だ者んなり、あるがままの我ア姿ア受け入れなれ。」

ほどご とぎ
施すイすつ時。[CD1-22]

「^{ごど とぎ ひとのア みせつびちげ}良い事オすつ時にア人前で誇示エイすいねアように氣イ付けなれ。そんでね
^{き ち}